

2月定例作業日は、2月10日(土)9時グリーントリム公園集合。

第2広場東側の斜面下部(写真右→)の下刈りをします。草が刈れているこの時期は刈り易いでしょう。また、薪置き場の整理をします。雨の場合は2/17(土)に延期します。

平日作業日は、2月20日(火)です。

枝打ち、刈払いなど、当日決めましょう。雨天中止。



第2広場斜面

1. 1月の定例作業は、落葉清掃、薪割りなど、そのあと親睦会

安全祈願

1/13(土)、はじめ空気が冷たく曇天で始まりましたが、途中から陽が射し、陽気になりました。参加者15名が三々五々集まり、新年の挨拶です。

まず、事始めに、安全祈願の山神祭。会発足からこの13年間の無事故を、気持ちを新たに今年も達成しましょう。

作業は、新年でもあり、里山周辺の道路や里山の広場に積もった落葉を清掃しました。集めた落葉の一部はカブ



落葉清掃

トムシ養殖場に持っていきました。



薪作り

そして、年末に薪が売れたので薪置き場に隙間ができたので、薪割りをしました。約25束を作りました。薪材料置場がだいぶ片付きました。

その他、ゴミ拾い、樹名板の修復調整なども行いました。

10時半頃、作業を止め、親睦会となりました。町内のことや地方の故郷の話なども出て皆で楽しみました。

その際に、昨年提案のあった**砂場シートカバー**についての意見を聞きました。

「使った後、カバーをかけない場合が多いのではないか」「カバーを開けるのに手間がかかり砂場の利用が減るのではないか」「公園管理は土木課の仕事」「我々は草木の整備で手一杯、予算もギリギリ」「他がやるのはいいが、会の経費支出は反対」などの意見が出ました。(別の場所で)美原のためになるならやってもいいのではという意見も聞きましたが、反対論はもっともな意見であり、大多数となりましたので、本件は会として取り上げないことになりました。

**2. 1月平日作業は、薪割り作業場整理、テーブル整頓ほか**

1/23(火)、空気が冷たいが、日射しは暖かい小春日和。参加者6名。

薪割り作業場を整理し、機能的な位置決めしようという意見が出て、即実行しようということになりました。特に、薪用の材料置場と廃材置場を区画分けし、材料置場へのリヤカーの進入路を作ろうと、次頁図の配置をかんがえました。当然、薪割り及び束ねの作業場は中央部分になります。この日は廃材を移



薪割り作業場整理

動させ薪材料の丸太の取り出しやすい状態にしました。

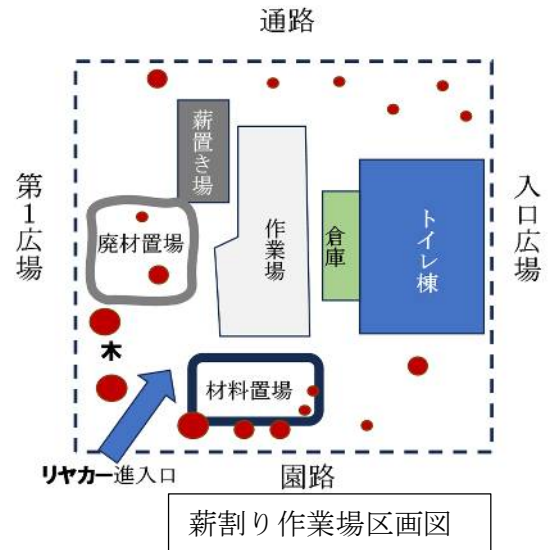
次に、休憩時間のときに、先月第1広場に搬入した丸太テーブルの1つの上面が傾いているのを見ていて、直



丸太テーブル整頓

そうということになりました。梃子で持ち上げ下に砂を入れ、ほぼ水平にしました。ついでに、虫やカビ・キノコによって腐らないように、周囲の木の皮を剥ぎました。

また、来年度の植樹の話題も出ました。東京都から供給される樹種リストにガクアジサイがあり、且つ、今年度植えた56株の補植の必要もでるだろうことから、ガクアジサイ30株を供与してもらえよう土木課にお願いしました。



薪割り作業場区画図

3. 臨時作業 カモミール植える

1/27 (土)、月末の来月作業打合せ役員会の後、橋本会長が自身の畑で育てたカモミールの苗1籠約35株を入口広場のヤマモミジ周辺とツツジ生垣の空いた場所に植えました。

カモミールは、キク科シカヅク属、北ヨーロッパ・西アジア原産、草丈30~60cm、花期3~5月。マーガレットに似た可愛い花で、リンゴのようなフルーティな香りのあるハーブで人気がある。精油、薬草としても利用される。



カモミール



枯木サクラの枝折れ



枯木コナラの枝折れ

また、第2広場の西側植栽地のナラ枯れの枝が落下したという知らせを現場で再確認しました。そしてその隣のヤマザクラの木が枯れて枝が折れ落ちていました。いずれも園路の頭上なので、通行人に直撃すると危険です。大きな枯れ木の撤去はクレーン車を要するので、土木課にお願いします。

森林環境税によって緑が蘇えるか

令和6年度から、住民税に納税者1人に付き森林環境税として千円が加算され徴収されます。これを増税と見るかそうでないかは微妙なところ。というのは、今年度までの10年間、時限立法で自治体の防災財源とする個人住民税均等割千円(納税者1人当たり)が徴収されていましたが、その時限切れに代わる措置で、住民税均等割は昨年と同額です。

森林環境税の内訳は都民税500円、市民税500円。羽村市での総額は、凡そ3,000万円の徴税になります。これが一端国庫に入り、ある定まった比率で自治体に配分譲与されます。これを森林環境譲与税といいます。森林環境税の徴税は令和6年度からですが、森林環境譲与税は国が借入金をして令和元年度から始まっています。羽村市ではこれまで総計約2,250万円(今年度565万円)でした。令和4年度に羽村市動物園木堀設置事業に一部が使われ、現在森林環境譲与税基金が約2,000万円貯まっています。令和6年度以降、森林環境譲与税は従来より約2割増えると予想されるので毎年約700万円弱が入ってくると思われれます。

この森林環境税および森林環境譲与税は、森林の公益的な役割(地球温暖化防止や災害防止)を安定的に確保するための地方財源を作るものです。全国的には、特に放置され荒廃した私有森林を公的管理によって整備することが主要な事業と構想されているようです。

わが羽村市においても、毎年約700万円の森林環境譲与税が入るので、これが緑地の整備拡大に有効に使われることを期待しましょう。